

# 自治労全国一般鹿児島第56回定期大会開催される！

## 《メインスローガン》

### 中小・非正規雇用労働者の組織化を推し進め

### 全国一般合同労組運動の新たな飛躍を勝ち取ろう！

## 大浦執行委員長体制決まる！

全国一般鹿児島は10月23日「アーバンポートホテル」で第56回定期大会を開催した

大会開催の前に学習会が開催された。学習会ではまず、あべ野書記次長が第33回自治研全国集会で発表する内容を報告した。次に「青木ひろし」県議会議員から公契約条例制定について、今日までの経過報告が詳しく説明された。また、制定へ向けての乗り越えなければならない課題も報告された。



挨拶する種井評議会事務局次長

午後からの大会では、武本副委員長の開会の挨拶に続いて大会議長に九州労金労組より鮫島代議員を選出した。まず、藤久保執行委員長より昨年の政権交代を確実なものにするために、今夏行われた参議院選挙において全国一般鹿児島として最大限の協力をしたが、結果として選挙区では惜敗したが、比例区「えさき たかし」の当選を勝ち取ったことへのお礼が述べられた。また、労金労組と労済労組が2011年7月末を持って全国一般を離脱することに対して、悔しさをにじませながらの挨拶となった。全国一般評議会・種井事務局次長の挨拶をはじめ、連合鹿児島・川野会長、自治労鹿児島県本部・榮留執行委員長ほか多くの来賓より激励の挨拶を頂いた。大会成立宣言が行われた後、「鹿児島市交通局嘱託職員分会」「帖佐運送分会」の新規加盟組合の承認を採択し

議事に入った。10年度の総括に続き会計報告、11年度運動方針・予算について執行部より提案がされ質疑応答のあと全代議員の拍手を持って全ての議事が採択された。なお、今大会は役員改選の大会ではなかったが労金労組・労済労組選出役員の退任に伴い役員の補充選挙を行った。

56期体制としては、全国一般鹿児島として初めて南日本総合サービス分会から執行委員長を選出、書記長に石原産業分会から階元書記長が選出され、大浦執行委員長、樋口副委員長、階元書記長、の三役体制が全体の拍手で承認された。

#### 《今後の予定》

- |         |             |
|---------|-------------|
| 11月5～7日 | 自治研第33回全国大会 |
| 開催場所    | 名古屋国際会議場    |
| 11月6～8日 | 護憲宮崎大会      |

#### 藤久保前委員長退任にあたって

第五十六回定期大会で辞任をすることとなりました。出身の労金労組が連合加盟形態をめぐる、「全国一般との二重加盟状態を解消する」との判断から派生した結果でした。

副委員長3年、執行委員長7年と全国一般で成長し、地域での労働運動に目覚めた労働者としては残念でなりません。連合中央は2002年に歯止めのかからない組織率の低下の中で、連合運動全般に対して外部有識者による評価委員会に評価と提言を委ねました。2003年に出された最終報告は日本における企業別組合主義からの脱却と、全ての働くものが結集できる新組織戦略の確立であり、企業別組合運動から産業別組合へ、ナショナルセンターへ、そして地域組織の強化へと運動の枠組みを拡げていくことを提言しました。また、職場労働組合と地域ユニオンへの同時加盟・複数帰属といった柔軟な加盟形態を作ることに、企業内の運動と平行して地域の運動の支援も行える形態を提言しました。

こうした非常に重要な評価委員会の提言を活かす事が最も求められている現在の労働環境で、そのことが旧態依然とした企業別組合主義を貫く労働組合からは忘れられているようで不安になります。地域の中に全国一般運動をもっともっと広めて行くべき時に抜けないことには無念さを禁じえません。しかし、決定事項ですので新たな全国一般との共闘の在り方を模索したいと考えています。

私たち全国一般に結集する労働組合は、中小企業であるがゆえに一つの労働組合だけでは専従者を配置できません、また横暴な事業主の存在から職場の労働者だけでは交渉をなかなか突破できない、だからこそ企業の本を乗り越えて地域の中に団結の機軸である全国一般運動を創ってきた訳です。そして専従者を配置し、それぞれの単組・分会から選出された役員で執行部を作り上げ、団体交渉に対応しながら職場の環境改善、賃金・労働条件の改善を進めてきました。また、組織力・財政力を高めるためにも組織拡大を進めてきました。また、政治的・政策的な課題もあり選挙闘争を通じて議員との連携も作ってきました。現在の労働者の置かれた状況は、大変劣悪な環境となっております。地域に団結する合同労組である全国一般の出番です。今こそ、その原点に立ち返り、各単組・分会の積極的な取り組みが求められます。

地域に大切な全国一般運動を側面から支えていくことをお誓い申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。